

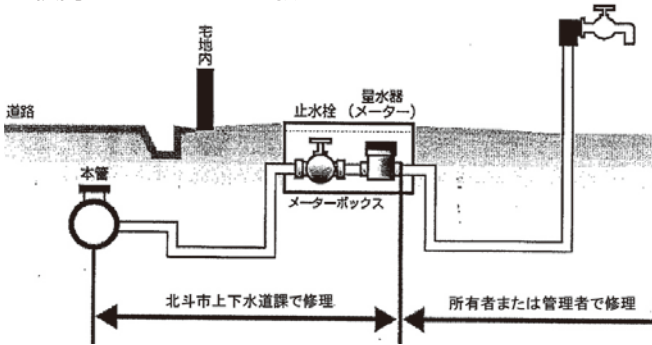


漏水してませんか？

宅内で漏水している場合、水道料金が過大となるばかりでなく、漏水箇所によっては住宅にも影響を及ぼしてしまいます。

漏水の有無は簡単に確認することができます。拡大を防ぎ、無駄をなくすためにも、お客様も日頃からメーターの確認をお願いします。

また、設置されてから長期間経過した給水管は内部の腐食が進んでいることが考えられ、漏水や赤水を発生させる危険性がありますので、早急に配管の交換をご検討されますようお願いいたします。



宅内漏水の兆候例

- ・前月に比べて使用水量が著しく多くなった。
- ・メーターから各蛇口までの配管をしてある地面や壁面が濡れている。
- ・配管や蛇口からシューシューと異音が聞こえてくる。
- ・水洗トイレの水がいつも流れている。

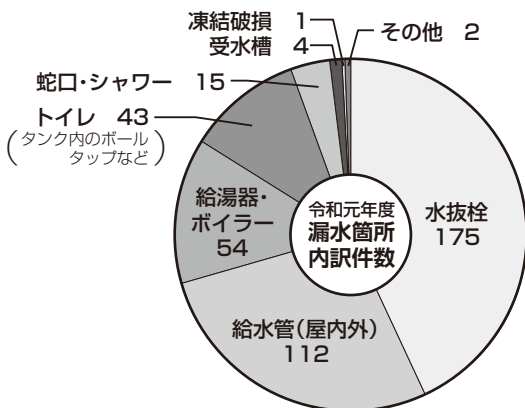
漏水箇所

令和元年度宅内での漏水件数は406件ありました。その漏水水量は22,102㎡となっており、漏水による損失額は約290万円に上ります。

給水管や水抜栓の地中での漏水は発見が遅くなり漏水量も多くなる傾向にあります。

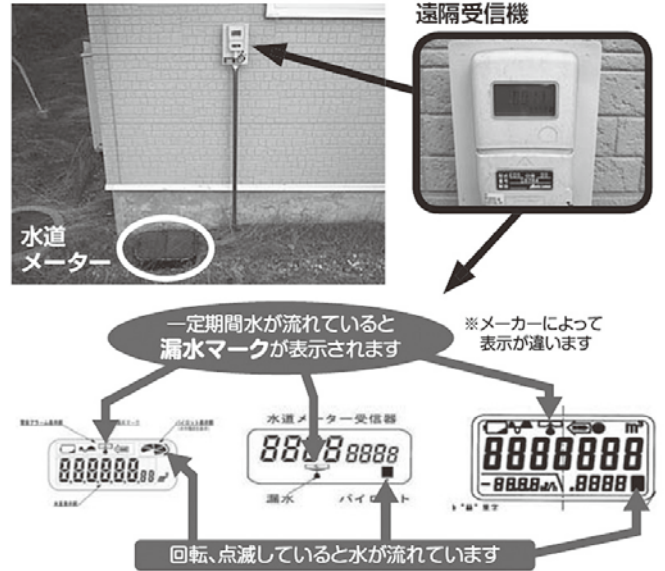
なお、水抜栓は中途半端に開閉すると、栓の地中部で漏水しますので、必ず全開か全閉となるよう確認してください。

そのほか、凍結による破損では、長期不在の場合が多く、漏水によって宅内が水浸しになるなど住宅への被害も発生します。



宅内漏水の見つけ方

水の使い方は変わらないのに使用水量が増えているような場合は、宅内で漏水している可能性があります。宅内で漏水しているか確認するには、水道の蛇口を全て閉め、水を使っていない状態にしてから水道メーター遠隔受信機の漏水マークとパイロットの動きを見ます。漏水マークが表示され、パイロットが回転・点滅していれば水が流れているため、宅内のどこかで漏水している可能性があります。



漏水があった場合

早急に修理が必要です。北斗市指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。漏水箇所を直さずに放っておくと損傷が拡大し、漏水した水量にも料金がかかるほか、住宅への被害が発生する場合があります。

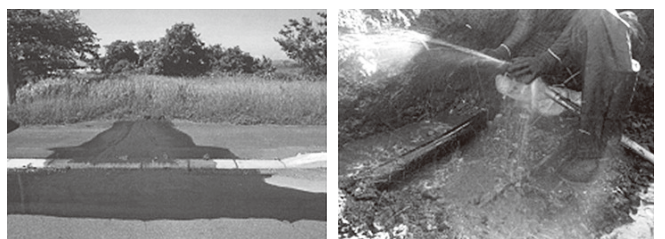
なお、修理費用についてはお客様のご負担になりますが、漏水発見後速やかに修理を行った場合、使用水量を認定し水道料金を減額できる場合があります。※指定業者は市公式ホームページで確認できます。



路上で漏水を発見したら

「雨も降っていないのに道路が濡れている」、「舗装の切れ目から水が染み出している」、「水があふれている」。このような場所では、布設された水道管から漏水している可能性があります。

漏水ではないかと思われる場所がありましたら上下水道課までご連絡くださいますようお願いいたします。



問 市役所上下水道課[内線242~248]